

令和6年3月末現在 事業進捗率 97%



逢瀬川の河川改修は、県道荒井郡山線道路改良事業(令和3年度完了)や郡山市施行の伊賀河原土地区画整理事業や市道麓山一丁目久保田線道路整備事業などと連携を図りながら整備を進めています。

① 逢瀬橋から大窪橋までの区間 【令和6年3月撮影】



① 逢瀬橋から大窪橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。

② 大窪橋から咲田橋までの区間 【令和6年3月撮影】



② 大窪橋から咲田橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。(咲田橋施工範囲を除く)

③ 咲田橋から東部幹線(市施行)までの区間 【令和6年3月撮影】



③ 咲田橋から東部幹線間の築堤護岸及び堤防道路が完了しました。令和5年度から咲田橋架け替えのため、旧橋撤去工を実施しています。

④ 東部幹線から幕ノ内橋までの区間 【令和6年3月撮影】



④ 東部幹線から幕ノ内橋上流部間の築堤護岸が概ね完成しました。令和5年度に幕ノ内橋上部工が完成しました。

一級河川 逢瀬川 郡山市若葉町地内

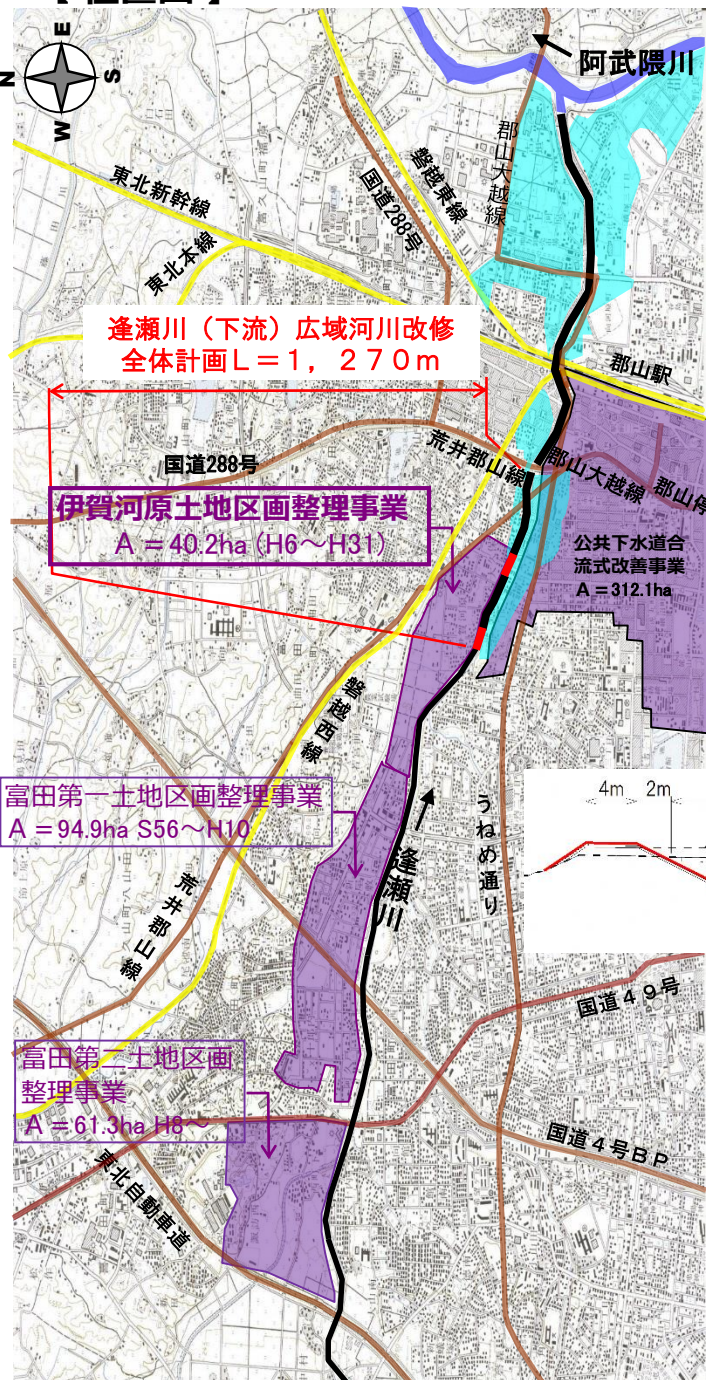
逢瀬川は、奥羽山脈の豊かな森林地帯を源流とし、本県の経済・文化の中心都市である郡山市の市街地を貫流して阿武隈川へ流下する、流域面積56.6km²の一級河川です。

市街地の浸水被害を解消し人々の安全で安心な生活を守ること、市街地の活性化を支援することを目的に、景観に配慮したまちづくりと一体となった河川整備を進めています。

事業の必要性と効果

河川断面が狭小であったため、昭和61年8月の台風、平成10年8月や平成23年9月の集中豪雨などに伴い沿江市街地の浸水被害が発生しました。また、令和元年東日本台風時には阿武隈川本川の異常な水位上昇に伴う浸水被害も発生しています。河川の断面積を広げるとともに堤防の高さを上げることにより、浸水被害の発生を軽減します。

【位置図】



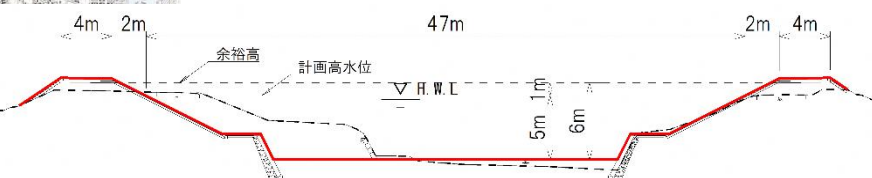
事業概要

全体計画延長：L=1,270m
 事業着手：昭和63年度
 事業完了：令和8年度（予定）
 事業概要：築堤護岸工 L=1,270m
 橋梁工 N=3橋
 大窪橋（完成）
 咲田橋（施工中）
 幕ノ内橋（完成）
 樋門工 N=5箇所（完成）

令和5年度の事業内容

- ・咲田橋旧橋撤去工
- ・咲田橋下部工
- ・幕ノ内橋上部工
- ・物件補償（咲田橋関連）

【河川：標準横断面図】



【令和元年10月出水状況】



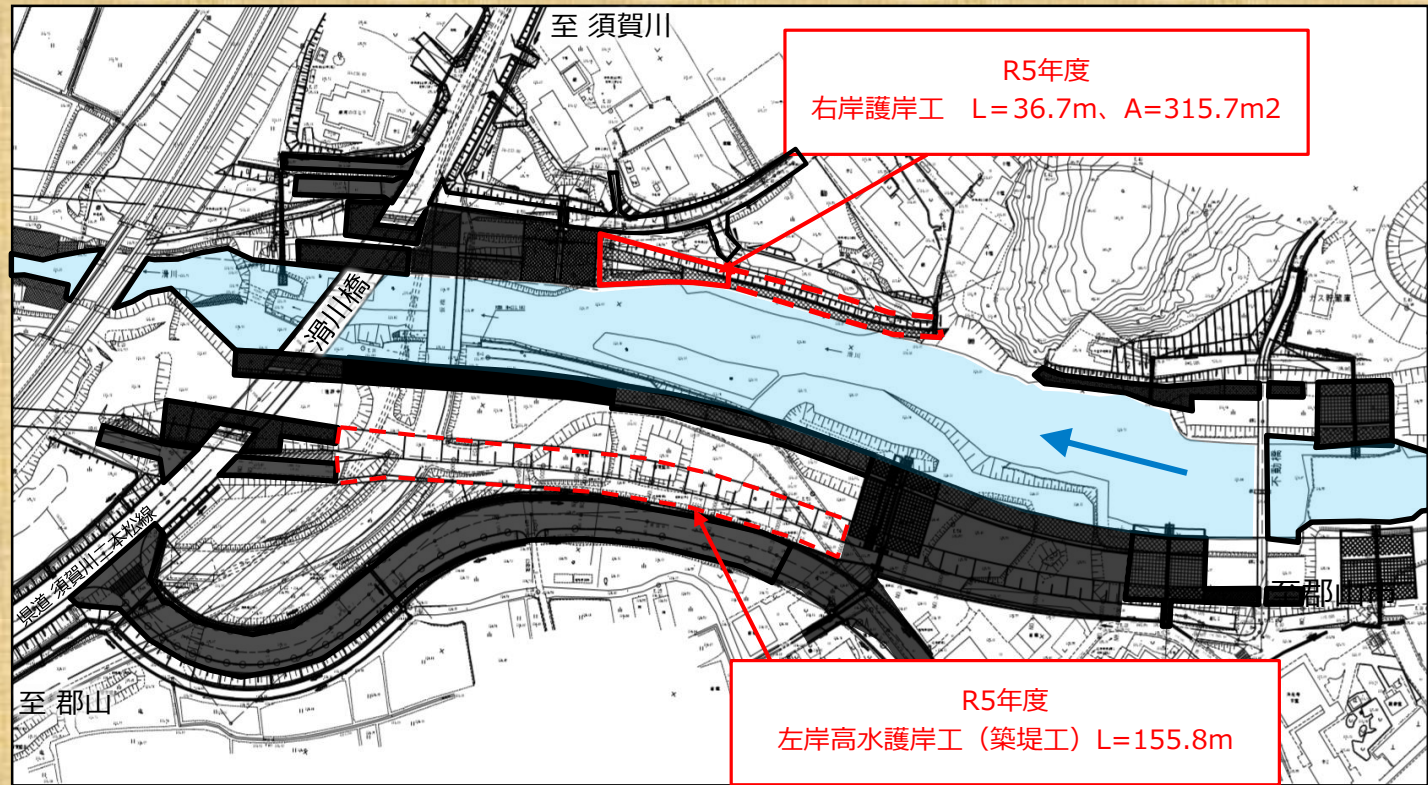
改修区間・・・
 今年度施行区間・・・

滑川河川改修

進捗状況

令和6年3月末現在

事業進捗率 92%



令和5年度は、滑川橋上流側において、右岸の護岸工、左岸の高水護岸工(築堤工)の工事を実施しました。

令和6年度は、引き続き滑川橋上流側において、右岸の護岸工、左岸の高水護岸工(築堤工)の工事を実施します。

【左岸高水護岸工 施工状況】



【右岸護岸工 施工状況】



一級河川 滑川 須賀川市滑川地内

滑川は須賀川市の市街地北部を貫流し阿武隈川へ流下する河川です。
須賀川市滑川地内の河川未改修区間について、沿川の人家等の浸水被害を解消し、人々の安全で安心な生活を守ることを目的に、河川整備を進めています。

事業概要

全体計画延長 L=1,700m
(うち重点整備区間 L=500m)

- ・護岸工 A=800m
- ・排水樋管工 N=4基
- ・橋梁工 N=3橋

平成5年度より事業着手

事業の必要性と効果

須賀川市滑川地内については、阿武隈川合流付近の最下流部であり、人家連担地区でありながら河川の断面が狭小であるため、大雨のたびに越水し浸水被害が発生しています。

本事業により河川の断面積を広げ、浸水被害を解消します。

【位置図】



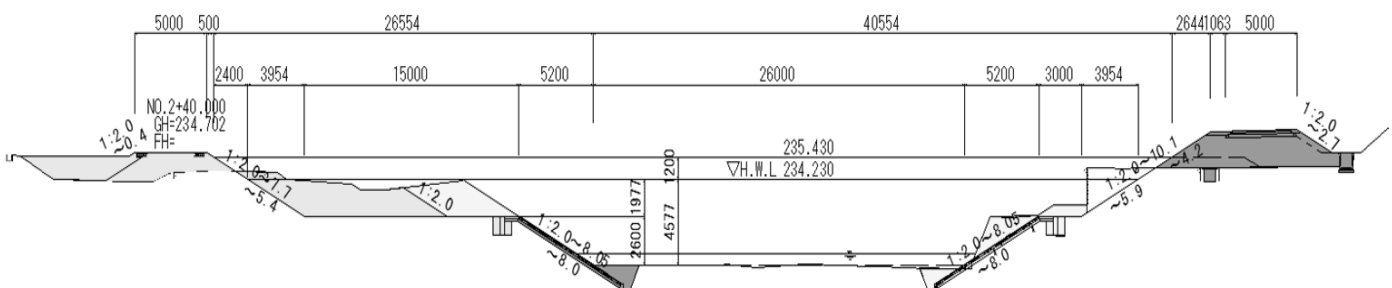
令和5年度の事業内容

- ・右岸護岸工 L=36.7m
A=315.7m²
- ・左岸高水護岸工（築堤工）
L=155.8m

【河川状況(令和元年台風19号時)】



【標準横断面図】



ふねひき

国道288号船引バイパス 進捗状況



事業着手前

平成24年5月 撮影

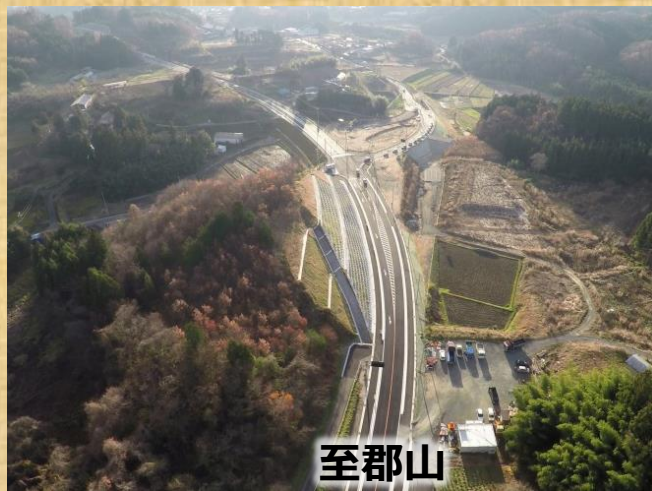


令和6年3月末現在

事業進捗率 82%



バイパス起点側から俯瞰



平成27年11月に1工区供用を開始しました



【令和5年3月撮影】

至郡山

令和4年9月に供用開始しました

国道288号（船引バイパス）

田村市船引町春山地内

国道288号は、郡山市から双葉町に至る延長約70kmの中通りと浜通りを繋ぐ地域連携道路であり、緊急輸送道路第二次確保路線にも指定され、また、福島県復興計画においてふくしま復興再生道路に位置づけられている重要な道路です。

船引バイパスは、災害に強い道路ネットワークの構築、田村市船引町中心市街地の交通混雑の緩和と良好な市街地形成を目的に、延長約7kmのバイパスを整備しています。

事業の必要性と効果

田村市船引町中心市街地は、道路の幅員が狭く、大型車の通行に支障をきたすとともに、交通混雑が発生しています。

船引バイパスの整備により、定時性の確保・所要時間の短縮、交通の分散がなされ、災害に強い道路ネットワークの構築と田村市船引町中心市街地の交通混雑の緩和により、安全で円滑な交通を確保します。

事業概要

延長L=6.80km 幅員W=6.5(11.0)m

- 1工区L=1.97km
- 2工区L=2.11km
- 3工区L=2.72km

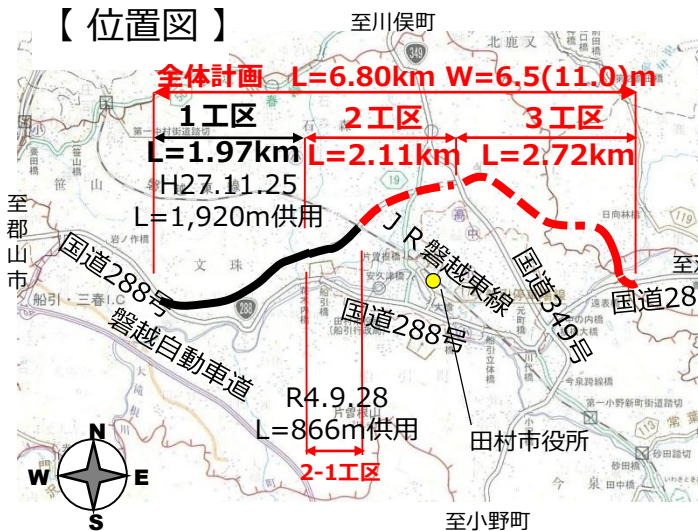
- ・ H8年度 事業着手
- ・ H24年度 1工区工事着手
- ・ H27年度 2工区工事着手、1工区供用開始

令和5年度の事業内容

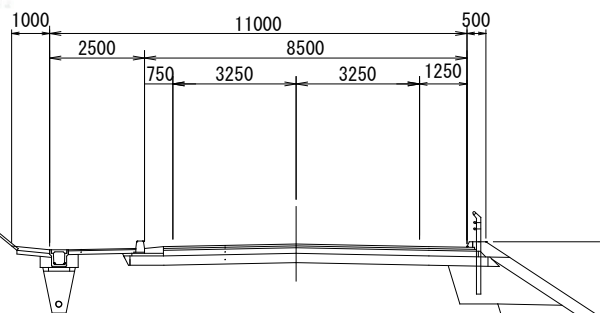
○船引バイパス

- ・ 2工区 改良工、用地補償 等
- ・ 3工区 改良工、用地補償 等

【位置図】



【標準横断面図】



【現道状況】



【現道状況】



吉間田滝根線

ひろせ 広瀬工区 進捗状況

事業着手
平成24年

令和6年3月末現在
事業進捗率 98%



< 現道の状況 >

< 令和6年3月末時点の施工状況 >

【現道状況(幅員狭小)】

現道は幅員が狭く、急勾配、急カーブとなっています。



【現道状況(除雪状況)】



【施工状況①】一般道区間の舗装工完了



【施工状況②】滝根IC (滝根インター橋)



【施工状況③】小野IC付近の橋りょう群



【施工状況④】小野ICから平田・滝根方面への分岐部



- 吉間田滝根線 (広瀬工区) は令和6年4月13日(土)15時に開通する見通しとなりました。
- ※あぶくま高原道路 平田IC~小野IC間の終日通行止めは4月13日開通日まで延長となります。
- ※小戸神橋の舗装面段差発生の影響により、小野ICから平田方面へ向かうランプ部は引き続き通行止めとなります。(矢吹方面へは滝根ICまたは平田ICからのご利用となります。)

吉間田滝根線（広瀬工区）

田村市滝根町広瀬地内～田村郡小野町大字小戸神地内

吉間田滝根線は、福島県復興計画において、小野富岡線とともにふくしま復興再生道路に位置づけられ、浜通りと中通りをつなぐ重要な道路となっています。

広瀬工区は、地域間の連携強化を促進し、交流人口増による地域の発展と、医療・福祉の確保を図ることを目的に、あぶくま高原道路小野ICから小野富岡線までのL=9.2kmの区間を整備しています。

平成24年度から事業に着手し、一般道区間L=6.6kmについては、平成28年度から令和3年度までの間、直轄権限代行事業として実施されました。現在は、自動車専用道路区間L=2.6kmを含め、県事業として施行しています。

事業の必要性と効果

矢大臣山前後の急峻で狭隘な区間や小野町中心市街地などにおいて、安全で円滑な交通に支障をきしています。

本事業により浜通り地方及び川内村から県中都市圏、あぶくま高原道路並びに公立小野町地方総合病院への良好なアクセスが形成されます。

事業概要

延長L=9.2km

〔自動車専用道路 L=2.6km〕
〔一般道区間 L=6.6km〕

幅員W

〔自動車専用道路 W=7.0(10.5)m〕
〔一般道区間 W=6.5(9.0)m〕

- ・ H24年度 事業着手
- ・ H28年度 一般道区間6.6kmの直轄権限代行事業着手(～R3年度)

【位置図】



令和5年度の事業内容

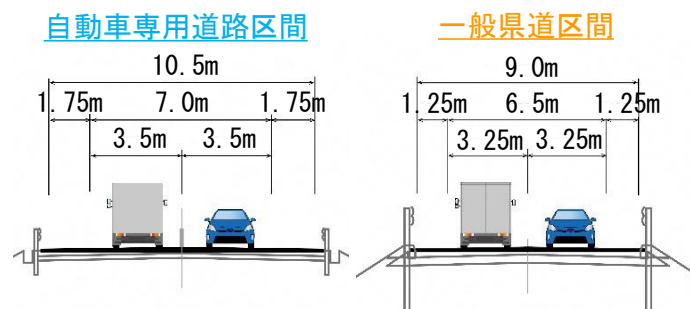
○自動車専用道路区間

- ・ 道路改良工
- ・ 舗装工
- ・ 道路付属施設工

○一般県道区間

- ・ 道路改良工
- ・ 舗装工
- ・ 道路付属施設工

【標準横断図】



いわき石川線

いしかわ

石川バイパス 進捗状況

事業着手前
平成16年度 撮影

令和6年3月末現在
事業進捗率 96%

幅員狭小



道路が狭いため、大型車両
同士のすれ違いに支障あり

2工区が開通しました！（令和5年2月25日）
早期の全線開通に向け、引き続き1工区の工事を進めます。

県道いわき石川線（石川バイパス）

石川郡石川町形見地内～石川町石田地内

いわき石川線は、地域連携道路として浜通りと中通りをつなぐ重要な道路であり、南東北の物流拠点である重要港湾小名浜港から中通りをはじめとする県内各産業集積地への物流を支える道路です。

石川バイパスは、交通・物流の良好なネットワークの構築と石川町中心部の交通混雑の緩和を目的に、延長約5kmのバイパスを整備しています。

事業の必要性と効果

石川町中心部は道路の幅員が狭く、大型車の通行に支障をきたすとともに、交通混雑が発生しています。

石川バイパスの整備により、定時性の向上・所要時間の短縮、交通の分散がなされ、交通・物流の良好なネットワークの構築と石川町中心部の交通混雑の緩和を図ります。

事業概要

延長L=5.02km 幅員W=6.5(11.0)m

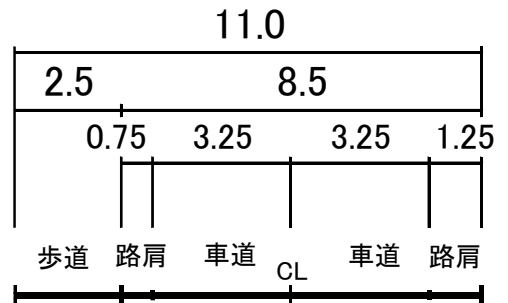
〔1工区 L=1.64km〕
〔2工区 L=3.38km〕

- ・ H16年度 事業着手
- ・ H16年度 1工区工事着手
- ・ H29年度 2工区工事着手
- ・ R4 年度 2工区供用開始

令和5年度の事業内容

- 石川バイパス
- ・ 1工区
コンクリート舗装工
道路改良工、補償等

【標準横断面図】



【位置図】



【国道118号交差点部の状況】



せんござわ 千五沢ダム 進捗状況



千五沢ダム再開発事業

千五沢ダム再開発事業は、かんがい専用ダムに洪水調節機能を付加するため、洪水吐き等の改築を行う事業です。平成30年度から非かんがい期(10月下旬から2月下旬)に流入部コンクリート打設を開始し、令和3年度末に打設を完了しました。今年度には、令和5年6月に管理橋の設置、令和6年1月に試験湛水、2月に園路工の施工が完了し、令和6年3月25日に竣工式を執り行いました。



令和6年3月末現在 **事業進捗率 100%**



【ダム全景】

【令和6年2月26日撮影】

上空から見たダムサイトの状況です。



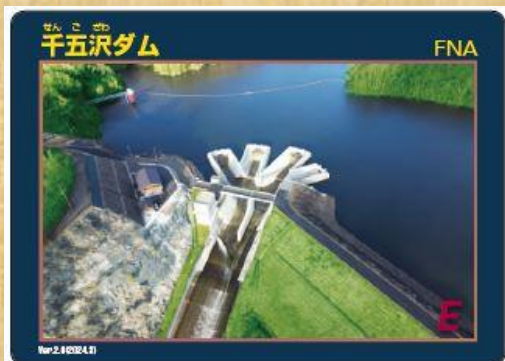
【令和6年2月26日撮影】

洪水吐き流入部の状況です。(夜間撮影)



【令和6年3月12日撮影】

ダム下流の状況です。



ダムカードとは、ダムのことをより知ってもらうためにダムを訪れた方に配布しているカードです。

令和4年8月1日現在、千五沢ダムも含めて福島県内では基本26ダムで配布していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、個別に配布を休止している場合がありますので、お出かけの際は事前に連絡してください。

DAM-DATA

所在地：福島県石川郡石川町大字母畑
 河川名：阿武隈川水系北須川
 型式：中央コア型アースダム
 ゲート：ゲートレス(自然調節方式)
 堤高・堤頂長：43m・176.5m
 総貯水容量：1千3百万㎡
 管理者：福島県/東北農政局
 本体工/完成年：2014/2024年

お問い合わせ先 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/dam-01.html>

ランダム情報

ダムの所在地である石川町は、日本三大産物産地の一つと知られ、歴史民俗資料館には多くの産出産物が展示されています。
 また、市街地を流れる北須川・今出川沿いに、いっせいに咲き誇る桜並木には多くの観光客が訪れ、県内有数の桜の名所となっています。

こだわり技術

農業専用のダムに新たに治水機能を付加しました。洪水吐きは、治水ダムとしての新基準である1,690m/sの設計洪水流量を低下させるため、越流長を長く確保できるラピッド型洪水吐きを採用しています。放射状に配属した4本の長方形の洪水吐きは、全国的に非常に珍しい形です。



千五沢ダム再開発事業

石川町大字母畑地内

千五沢ダム再開発事業は、石川郡石川町に昭和50年3月に完成したかんがい専用の千五沢ダムに治水機能を付加するための改築を行う事業です。

平成26年度に洪水吐改築工事に着手し、令和5年度に完成しました。

ダムの目的

【洪水調節】

戦後最大の被害を与えた洪水（S41.9）に対して安全となるよう、ダムに水を貯め、洪水の調節を行います。

【かんがい用水の供給（現在の機能）】

母畑地区の1.985ha農地に対して、かんがい用水として最大3.088m³/sの取水を可能にします。

【河川流量の維持・既得取水の安定化】

北須川の水辺環境への影響を少なくするために、一定の河川流量を維持して河川環境を保全するとともに、沿川の既得取水の安定化を図るため安定した水の補給を行います。

ダムの効果



【昭和62年5月渇水状況】

渇水被害の解消

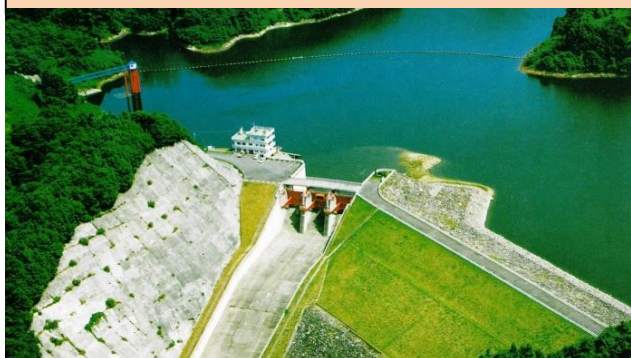
ダムの改築



【平成10年8月出水状況】

洪水被害の軽減

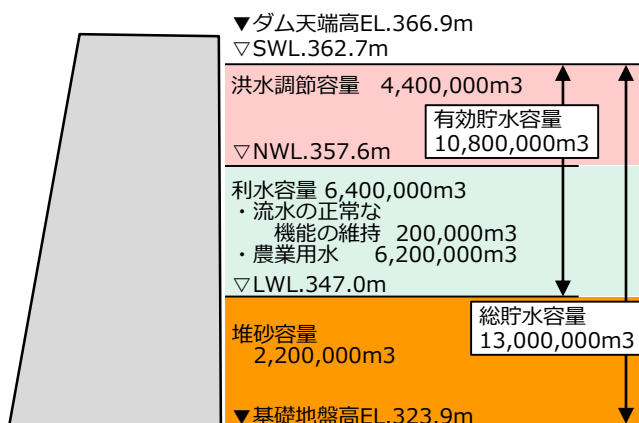
改修前



改修後



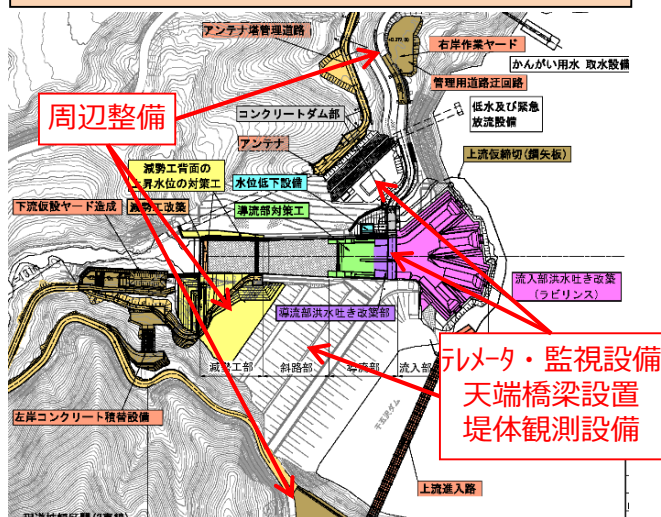
完成後のダム容量配分図



令和5年度の事業内容

- ・管理橋設置(令和5年6月1日完了)
- ・堤体観測設備(令和6年3月6日完了)
- ・テレメータ・監視設備(令和6年3月6日完了)
- ・周辺整備(令和6年2月16日完了)
- ・試験湛水(令和6年1月7日完了)

改築平面図



テレメータ・監視設備
天端橋梁設置
堤体観測設備

国道349号

ならさか 檜坂工区 進捗状況

事業着手前
平成23年度 撮影

令和6年3月末現在
事業進捗率 88%

道路が狭く、急な上り坂

【現道状況】



【一部開通状況】



【R5施工箇所】



【施工状況（岩の掘削工事）】



令和5年3月1日に約1.3kmの区間が開通しました。
早期の全線開通に向け、引き続き工事を進めます。

国道349号（檜坂工区）

石川郡古殿町山上字才木草地内～石川郡平田村大字北方字檜坂地内

国道349号は、茨城県水戸市を起点とし本県の中通りを縦貫して宮城県に至る重要な幹線道路です。

災害等により浜通り軸（浜通りを縦貫する基幹的な道路）が通行不能となった場合の代替機能を確保することを目的に、檜坂工区は、古殿町と平田村の町村境の峠部の延長L=2,150mを整備しています。

事業の必要性と効果

檜坂工区は、道路の幅員が狭く、急勾配や急カーブが連続し、通行の難所となっています。本事業により、幅員狭小と線形不良ならびに冬期間に路面が凍結する日陰区間を解消し、安全で円滑な交通を確保します。

事業概要

延長L=2,150m 幅員W=6.0(8.0)m

- ・ H23年度 事業着手
- ・ H28年度 工事着手

R5.3月に約1.3kmが開通

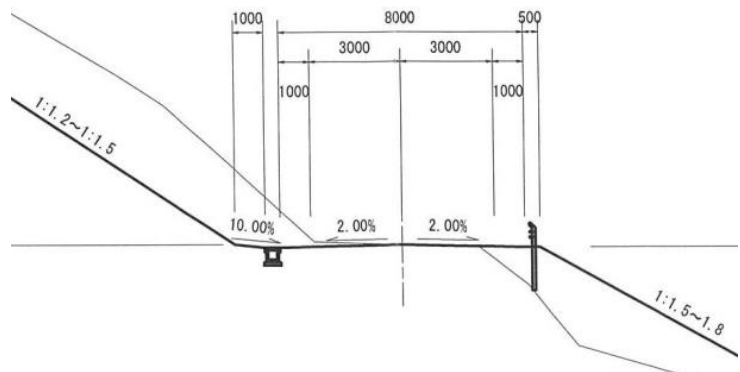
令和5年度の事業内容

- ・ 改良工事（岩掘削工事）

【位置図】



【標準横断面図】



【現道状況（峠部）】



【現道状況】



いわき石川線

ちょうこうち まつかわ 長光地工区、松川工区進捗状況



事業着手前
平成23年度 撮影



令和6年3月末現在
事業進捗率
46% (長光地工区)
90% (松川工区)

【長光地工区：工事前】



至 いわき市

【長光地工区：工事完了箇所】



至 いわき市

【松川工区（叶神）：工事状況】



【令和6年2月撮影】 至 いわき市

【松川工区（叶神）：工事状況】



【令和6年2月撮影】 至 いわき市

現在は、用地補償、改良舗装工等を実施しています。

いわき石川線（長光地工区、松川工区）

石川郡古殿町大字鎌田地内、石川郡古殿町大字松川地内 外

いわき石川線は、地域連携道路として浜通りと中通りをつなぐ重要な道路であり、また、南東北の物流拠点である重要港湾小名浜港から中通りをはじめとする県内各産業集積地への物流を支える道路です。

長光地工区及び松川工区は、急カーブや道路の幅員が狭い箇所について、交通の安全性を高めるため道路の整備をしています。

事業の必要性と効果

本事業により、急カーブや幅員狭小区間の解消を行い、安全で円滑な交通を確保します。

定時性の向上・所要時間の短縮により、地域間の連携強化、物流の効率化が図られます。

事業概要

- 長光地工区 H24年度事業着手
延長L=1,620m 幅員W=6.5(11.0)m
- 松川工区 H24年度事業着手
延長L=3,640m 幅員W=6.5(11.0)m

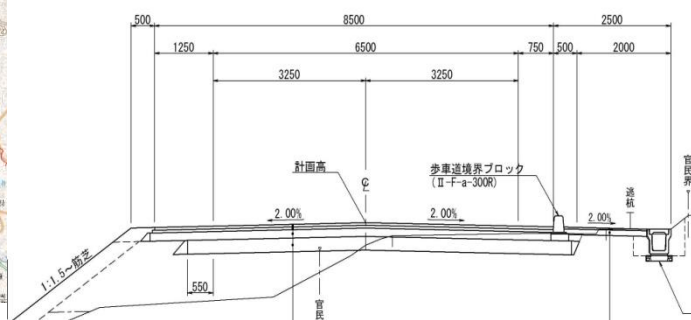
【位置図】



令和5年度の事業内容

- 長光地工区
・用地調査
- 松川工区 (葉神)
・改良舗装工、函渠工、用地補償

【標準横断図】



【施工状況：長光地工区】



長光地工区
用地補償を実施中

【令和4年9月撮影】

【施工状況：松川工区（葉神）】

松川工区（葉神）
拡幅工事を実施中。



【令和6年2月撮影】

飯野三春石川線

しんまち

新町工区 進捗状況



事業着手
平成19年



令和6年3月末現在
事業進捗率89%

【施工状況】



【工事完了箇所】



【工事完了箇所】



今年度は、未着手区間における道路線形の見直しを行いました。

飯野三春石川線（新町工区）

田村郡三春町新町地内

飯野三春石川線は、福島市飯野町から田村郡三春町を経て、石川郡石川町に至る重要な生活幹線道路です。

新町工区は、道路の幅員狭小及び歩道の段差により安全な通行に支障が生じていることから、歩行者や車両の安全性を確保するため、延長L=400mの区間を整備しています。

事業の必要性と効果

本事業により、車道の拡幅と歩道の整備を行い、歩行者や車両の安全で円滑な交通を確保します。

事業概要

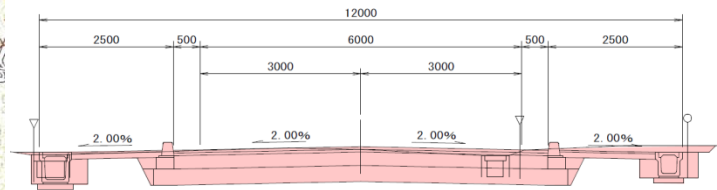
- 延長L=400m 幅員W=6.0(12.0)m
- ・H19年度 事業着手（用地・補償）
 - ・H25年度 新町橋架け替え工事着手
 - ・H27年度 新町橋完成

令和5年度の事業内容

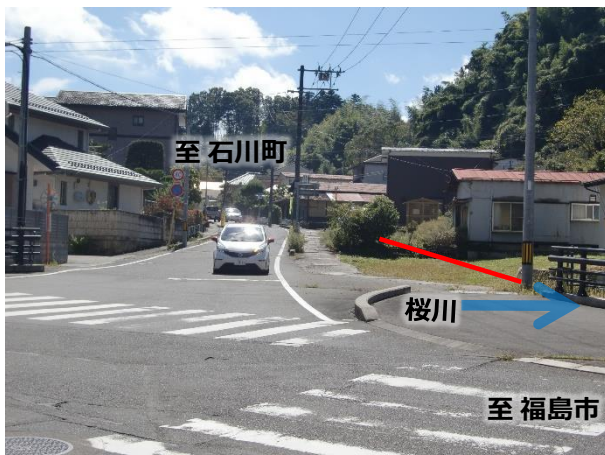
- ・修正設計



【標準横断図】



【現道施工前状況】



【現道施工前状況】



う し な つ い が わ

右支夏井川改修進捗状況

令和6年3月末現在 **上流工区事業進捗率 54%**

現況河川幅8.0m 計画河川幅36.5m

現在、用地補償、小野橋付近・荒町橋付近・稲荷橋付近の工事を実施しています。

車川護岸 工事状況



稲荷橋上流護岸 工事状況



右支夏井川と荒町橋付近 工事状況



二級河川 右支夏井川

田村郡小野町大字小野新町 地内

右支夏井川は、小野町の中心市街地を貫流し夏井川に合流する河川です。市街地の浸水被害を解消し、人々の安全で安心な生活を守ることを目的に、まちづくりと一体となった河川整備を進めています。

事業の必要性と効果

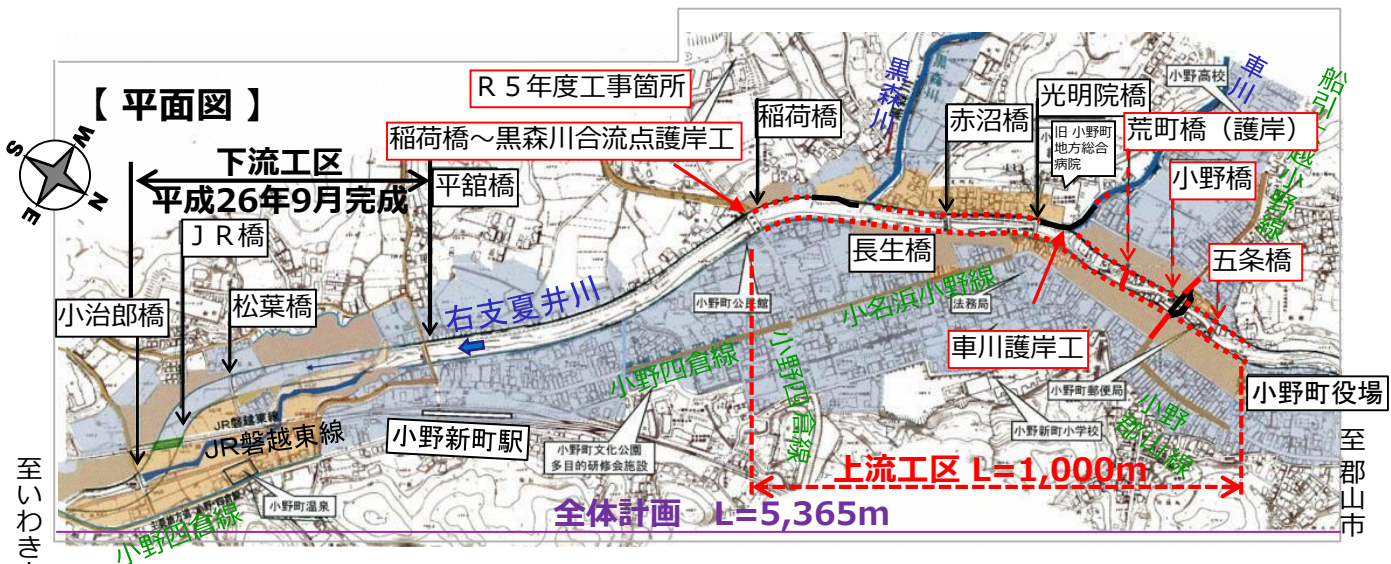
右支夏井川は、中心市街地である小野新町地内において河川の断面積が狭小であるため、昭和61年8月の台風、平成2年9月、平成10年8月の集中豪雨で浸水被害が発生しています。本事業により河川の断面積を広げ浸水被害を解消し、まちづくりと一体となった整備により、市街地の活性化に寄与します。

事業概要

- 広域河川改修全体計画 L=5,365m
重点整備区間
- 下流工区(小治郎橋～平館橋) L=1,000m
 - ・H8年度 事業着手
 - ・H26年度 完成
 - 上流工区(稲荷橋～役場裏) L=1,000m
 - 築堤護岸工 L=1,000m
 - 橋梁工 N=4橋 町道工 N=1式
 - ・H26年度 事業着手

令和5年度の事業内容

- 上流工区(稲荷橋～役場裏)
 - ・測量、調査、設計
 - ・用地補償
 - ・稲荷橋～黒森川合流点の護岸工
 - ・車川護岸工
 - ・荒町橋の護岸、スロープ



至いわき市

至郡山市

【出水状況：小野橋下流】



【出水状況：車川合流部】

